第4回

日本司法作業療法学会学術集会

2026年11月14日（土）・15日（日）｜早稲田大学 小野記念講堂他 ＋ WEB開催

テーマ『ひとりの人の理解から人生を支援すること』

主催　日本司法作業療法学会　　共催　早稲田大学 法学部 小西ゼミ

会期
2026.11.14(土)〜15(日)

会場
早稲田大学 小野記念講堂 ほか

＋WEBオンライン同時配信

懇親会 11.14 17:00〜 大隈ガーデンハウス

MESSAGE FROM THE PRESIDENT ｜ 大会長より

「ひとりの人の理解から・人生を支援すること」について、一緒に考えましょう。

第４回日本司法作業療法学会早稲田大会では、あらためて「ひとりの人を正確に理解し、その人生を支援すること」について考えたいと思います。作業療法の個別支援の原則に立ち返り、その人の人生を支援できる存在になるために、OTを含む支援者が成長するために必要なことは何か――この問いについて、参加者全体で考えたいと思います。

2005年に施行された医療観察法により、司法領域におけるリハビリテーションの接点が生まれ、その接点は確実に広がり、様々な取り組みに発展しています。医療観察法における指定医療機関や社会復帰調整官、障害福祉サービス事業者等の立場で対象者の社会復帰を促進する取り組みから20年が経過しました。その20年が経過した2025年から、改正刑法による拘禁刑が施行され、受刑者処遇は大きな転換期を迎えています。受刑者の社会復帰支援に向けて、OTがどのように関与していけるのか、新たな課題に対峙しています。

近年では、公判段階の入口支援、矯正施設入所中、出所時の出口支援、更生保護における保護観察や医療観察、そして司法手続後の地域生活支援と、各段階でOTが関与しています。日本の司法領域の作業療法は大きく変動・発展している途上にありますが、どのような状況や立場であっても、OTは、対象となる人を正確に理解し、その人生を支援できる存在になるべく、研鑽を積み重ねていく必要があります。

第4回 日本司法作業療法学会学術集会
大会長　棟近 展行
（東京保護観察所）

DAY 1 PROGRAM ｜ 11月14日（土）小野記念講堂

13:30	**開会式**　棟近 展行（東京保護観察所）
13:45	**基調講演**　「地域で支える更生保護における作業療法士への期待」 今福 章二（学会顧問・中央大学）
14:55	**シンポジウム**　「地域社会における個別支援を考える」座長：棟近 展行 実践報告：奥田 真由美／香山 明美／公文 一也 指定発言：小西 暁和（早大）

参加登録 受付中　｜　プログラム詳細・参加費は裏面へ

大会長 棟近 展行（東京保護観察所）　実行委員長 林 稚憲（府中刑務所）　事務局長 都筑 伸太（関東矯正管区／矯正局）
お問い合わせ JSFOT2026@outlook.com

プログラム詳細 PROGRAM DETAIL

11/14土 小野記念講堂 13:30–16:30

13:30 開会式
棟近 展行（東京保護観察所）

13:45 基調講演
「地域で支える更生保護における作業療法士への期待」
今福 章二（日本司法作業療法学会顧問・中央大学）

14:55 シンポジウム
「地域社会における個別支援を考える」 座長：棟近 展行
① 地域生活定着支援の関わり／奥田 真由美（岡山県精神科医療センター）
② 社会参加支援の関わり／香山 明美（東北文化学園大学）
③ 地域で支えるネットワーク作り／公文 一也（芸西病院）

17:00〜 懇親会（大隈ガーデンハウス）

11/15日 分科会① 矯正 10:00–11:30

「矯正における作業療法」
座長：林 稚憲（府中刑務所）
令和7年6月施行の拘禁刑制度のもとで実践が拡大する矯正施設における作業療法を紹介。対象者の個別特性を捉え、生活行為の達成・対人行動の調整・社会復帰への準備を支援するOTの実践を現場の視点から報告する。
10:00〜11:00　実践報告 （登壇者調整中）
11:20〜11:30　質疑応答

11/15日 分科会② 更生保護 12:30–14:00

「更生保護分野で活躍する作業療法士からの実践報告」
座長：佐藤 拓也（東京保護観察所立川支部 統括社会復帰調整官・OT）
保護観察官・保護司として活躍するOTが、更生保護に興味をもったきっかけや葛藤も含めて報告し、フロアを交えて意見交換する分科会。

12:30 保護観察官からの実践報告
荒川 将栄（秋田保護観察所 企画調整課長 保護観察官・OT）
13:00 保護司からの実践報告
吉田 裕紀（常葉大学保健医療学部作業療法学科 保護司・OT）
13:20 新任保護司からの実践報告
高井良 静香（保護司・OT）　／　13:35 質疑応答

参加費 REGISTRATION FEE

種別	事前	当日	WEB
会員	¥2,000	¥3,000	¥2,000
非会員	¥6,000	¥6,000	¥6,000
他職種	¥2,000	¥3,000	¥2,000
学生	無料	無料	無料
ご招待・オブザーバー等	無料	無料	無料

- ※他職種＝作業療法士以外の専門職。
- 会員登録（別途申込必要）¥3,000で会員価格適用。
- 参加登録は下記のQRコードから登録サイトにてご登録をお願いします。
- 会員登録は学会HPにて別途登録をお願いいたします。

11/15日 分科会② 医療観察 10:00–11:30

「制度の入り口から出口まで ― 医療観察法における個別支援としての作業療法実践」
座長：岩井 邦寿（国立病院機構東京病院）
上田 研太（大阪府立病院機構 大阪精神医療センター）
医療観察法の各フェーズで、OTが「その人の生活・背景・意味」とどう向き合い、他職種や制度と連携しながら関与してきたかを時系列で整理・可視化。強い制度的枠組みの中でも、OTが一人一人の個別性をどう捉え実践に反映してきたかを具体的な報告で示す。

① 鑑定入院期におけるOTの関与と評価
② 指定入院病棟期・通院医療期・地域移行後の関与（入院から地域移行に至る継続的実践）
③ 質疑応答

当セッションのみ、現地参加のみ・オンライン配信なし

11/15日 分科会④ 一般演題 12:30–14:00

「司法作業療法の種を求めて」
座長：深町 晃次（九州栄養福祉大学）
学会テーマに沿った演題発表から司法作業療法分野の「研究の種」を得る機会に。畑を耕すような（根掘り葉掘り！）活発な議論を。
演題募集：令和8年5月20日〜9月1日　応募先
JSFOT2026@outlook.com

参加登録・最新情報・SNS
右のコードから各ページへ
お問合せ：事務局
JSFOT2026@outlook.com

参加登録 Peatix　ホームページ　X @OT_waseda2026　IG @ot.waseda1114